



平成 25 年 7 月 11 日

各 位

東京都墨田区吾妻橋三丁目3番2号
株式会社ペッパーフードサービス
代表取締役社長 CEO 一瀬 邦夫
(コード番号: 3053)
問い合わせ先 総務部長 猿山 博人
電話番号 03 (3829) 3210

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 25 年 4 月 11 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 25 年 12 月期第 2 四半期累計個別業績予想数値の修正 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,580	77	83	48	16円91銭
今回修正予想(B)	2,700	119	123	81	28円51銭
増減額(B-A)	120	42	40	33	
増減率(%)	4.7	54.5	48.2	68.8	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成24年12月期第2四半期)	2,537	28	12	△17	△7円02銭

(注) 1株当たり当期純利益につきましては、平成 25 年 7 月 1 日付株式分割 (1:100) 後に換算した期中平均株式数 2,840,900 株に基づき算出しております。

平成 25 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,492	267	275	209	73円67銭
今回修正予想(B)	5,777	267	275	209	73円44銭
増減額(B-A)	285	0	0	0	
増減率(%)	5.2	0.0	0.0	0.0	
(ご参考) 前期実績(平成24年12月期)	5,239	104	94	14	5円38銭

(注) 1株当たり当期純利益につきましては、平成 25 年 7 月 1 日付株式分割 (1:100) 後に換算した期中平均株式数 2,845,800 株に基づき算出しております。

修正の理由

平成 25 年 12 月期第 2 四半期累計期間につきましては、規模の拡大を図るために新規業態を開発し新規店舗の出店を増やすとともに効果的な販売促進活動を行うことにより既存店の売上高増大に全社一丸となって取り組んでまいりました。

新規業態の展開としては、ステーキ&ハンバーグにサイド&デザートメニューを充実させた KUNI'S 業態の店舗がイオンモール高崎、アリオ深谷、アリオ上尾のフードコート内にオープンし、仙台方式の牛たんメニューにこだわり誕生した牛たん仙台なとり業態の牛たん専門店が、イオン東久留米、東京競馬場のフードコート内にオープンしております。

ペッパーランチ部門は、全店キャンペーン・個店販促キャンペーンを定期的に行い、業績向上に努めた結果、売上高、営業利益ともに予算を上回ることができました。なお、現地での牛肉価格の高騰と円安の影響により原価が増加いたしました。商品構成の見直し、売上高の拡大などにより吸収することができました。

レストラン部門は、引続き行っている月例食事会によりリピート顧客の獲得に努めることなどの施策により、売上高は予算を上回ることができましたが、営業利益につきましては前年を上回っているものの新店の営業開発費が嵩んだことなどにより予算には届きませんでした。

海外事業部門は、新規出店に伴う新規加盟金収入とロイヤリティ収入の増加および現地既存店の売上高が順調に拡大していることなどにより売上、営業利益ともに予算を上回って好調に推移しております。

これらの結果から、売上高が 120 百万円、営業利益が 42 百万円、経常利益が 40 百万円、四半期純利益が 33 百万円前回発表の予想より上回る見込みですので、第 2 四半期累計期間の業績予想を修正するとともに通期の業績予想につきまして、売上高を見直し修正をいたします。

以上